



# アンケート結果を踏まえて改善案を討議 池の平でFD研修会

平成21年度第1回金沢高専FD研修会を7月23日(木)から1泊2日の日程で池の平セミナーハウスにおいて実施した。このFD研修会は平成16年度からスタートし、今年で6回目となった。今回の研修テーマは「アンケート結果から見えてくるもの」であり、7月14日(火)に実施された「平成20年度アンケート調査結果報告会」において(有)アイ・ポイントの池田晋代表取締役から報告を受けた分析結果を踏まえて、研修が行われた。

後回しと言うやり方は、この種活動の最も忌むべき行動である。学校は、理想的には人間形成の場として、社会からは即戦力養成の場として、学生からは知識吸収や日々の楽しみの場として、そして教職員には、なりわいと個人の幸せ追及の場として存在している。さらに学校は一定の『理念』の下に存在し、それを追及する人間の集まりとして存在しているということである。

アンケート結果やその報告会で出された多くの意見は、上記観点に立って真摯に評価されるべきであり、その結果に基づいた今回のFD研修におけるグループ討議の提言は明日への改善につながる。本校をとりまく環境はたいへん厳しく、対症療法で突破できるような状況ではない。だからこそ、全員が力を合わせて「授業」を革新し、教育のど真ん中で勝負できる学校へと体質改善しなければならない。

この、校長の熱き思いを全教職員が受け止め、左記に示す日程のもと、まず「オリエンテーションテスト結果について」と題して、平成21年度新入生の数学を中心とした能力評価分析について、今澤明男教務主事が報告した。

次に、「金沢高専におけるFD活動の歩み」と題して、天日三知夫研究主事から金沢高専がこれまで取り組んできたさまざまなFD活動の歴史について報告があった。

その後、今回の研修テーマである「アンケート結果から見えてくるもの」について、短期改善目標と中・長期改善目標を見いだすため、5班に分かれてグループ討議が行われた。

夕食をはさみ、さらに意見交換会が行われた。日中のフォーマルな討議とは異なり、親睦を深めながらの討議は建設的で貴重な提案が多く出された。

2日目は、前日に行われたグループ討議の結果をまとめた後、各班の代表が報告した。最後に山田校長が講評をし、早めの昼食をとり、工場見学先のYKK(株)へ向かった。

## 平成21年度 第1回 高専FD研修会 日程

日	時間	内容
23	8:20	プラザ集合
	8:30	学校出発
	12:00	池の平セミナーハウス到着
	12:15~13:00	昼食
	13:10~13:15	開会式及び日程説明〔研究主事〕
	13:15~13:30	校長挨拶
	13:30~13:50	オリエンテーションテスト結果について〔教務主事〕
	13:50~14:20	金沢高専におけるFD活動の歩み〔研究主事〕
	14:30~15:50	グループ討議Ⅰ：平成20年度アンケート調査結果を踏まえて「短期改善目標」
	16:00~17:30	グループ討議Ⅱ：平成20年度アンケート調査結果を踏まえて「中・長期改善目標」
	17:45~18:30	夕食
18:45~20:00	意見交換会	
24	7:30~7:45	朝の集い
	7:45~8:30	朝食
	8:30~8:45	片付け・掃除・部屋明け渡し
	8:45~9:15	グループ別まとめ
	9:15~10:55	グループ別発表 (5部門 各15分発表+5分質疑討議)
	10:55~11:10	講評〔校長〕
	11:15~11:50	昼食
	12:00	池の平セミナーハウス出発
	14:00~16:00	YKK(株)黒部事業所工場見学および意見交換会(高専教育に期待すること。他)
	17:30	学校到着

また、このFD研修を実施するに当たり、山田弘文校長から配付資料の表紙をかざる次のようなメッセージが寄せられた。

『授業を通して学生を変える、成長させることが教師の最大の仕事である』

「アンケート活動に関する学生の対応も年毎に向上しており、好ましい限りである。真摯な回答が得られるにつれ、対応する学校側の責任の度合いが増してきているのは、深く認識する必要がある。評価のみ求めて改善は



真剣に討議を重ねる高専教職員

今回のFD研修会では、本校を卒業すると学生たちはどのような企業でどのような仕事に携わっているのかを、技術者を育てている全教職員が知ることは大切であるとの考えで、「YKKの黒部事業所工場見学および同社員との意見交換会」を組み込んだ。

約1時間半の工場見学を経た後、本校の卒業生ではないが、高専を卒業した方との意見交換の時間を設けていただき、高専教育に対する要望や、技術者として身につけておくべき能力や人間性について意見を伺うことが出来、有意義な工場見学となった。

帰校後、各教職員に今後の改善に役立ててもらうため、グループ討議において全員が真剣に取り組み、知恵を出し合ってまとめた5グループすべての改善提案を配付した。また、KTC教育評価委員会でも議論を重ねて喫緊の提言については校長に具申し、実行可能なものから、改善に着手していく計画である。

金沢  
高専

## 授業アンケート調査結果報告会

池の平FD研修会で活用

金沢高専1階多目的実験室において、7月14日(火)に平成20年度KTCアンケート調査結果報告会を実施した。金沢高専では平成15年度から全学生を対象とした「授業アンケート調査」および学生、教職員、卒業生、企業を対象とした「総合アンケート調査」がスタートした。そのうち、卒業生と企業対象は5年に1度実施されることになっている。平成20年度はアンケートが開始されてちょうど5年目に当たり、今回の報告会では、総合アンケート調査に関しては、学生、教職員、卒業生、企業の全対象者に対する調査結果が報告された。また、新入生

今回の報告会では、アンケート調査結果をまとめた(有)アイ・ポイントの池田晋代表取締役から自由記述の部分を除くすべてのアンケート調査結果が報告された。特に、「総合アンケート調査」に関しては、これまで蓄積されてきた結果から見えてくる傾向について報告があった。

学生の授業に対する満足度や授業への興味などは年々全体的にはよい傾向がみられるとの評価が得られた。これは、先生方がアンケート調査結果に基づいて学生にとってわかりやすい授業や実力のつく授業を実践するための授業改善に取り組んできた結果である。また、本校や池の平セミナーハウスでの「FD研修会」や年度末に実施している「教育成果発表会」などの教育改善活動の成果が表れていると推測される。

様々な視点からのヒントを得ながら、今回のアンケート調査結果報告会で浮かび上がった問題点に関して、7月に池の平セミナーハウスで実施されたFD研修会において、「アンケート結果から見えてくるもの」と題して、短期改善目標と中・長期改善目標を見いだすために、グループ討議などで検討した。また、12月には第2回目のFD研修会を実施し、いっそうの教育の改善を図っていく予定である。

アンケート調査を開始して5年、アンケートの設問で見えてくるものが多いことや、すでに傾向が明らかになったものもあるため、設問の内容などの見直しを図りながら、今後も企画部CS室の協力を得てアンケート調査による教育の点検評価を実施し、PDCAサイクル(P:学習支援計画書や教育改善への取り組みと今年度の目標の作成、D:授業、部活動指導等、C:アンケート調査、A:アンケート調査結果を踏まえて授業改善や自己点検・自己評価書の作成、教材開発)を廻しながら、本校が取り組んでいる学生、保護者、教員の三位一体に



アンケートの調査結果を報告する池田氏

アンケート調査や今回初めて試みられたグループインタビューの結果についても報告があった。

これに先立ち、新学期に配付する学習支援計画書に前年度のアンケート調査結果を反映させるため、「授業アンケート調査」結果が、3月初旬に速報版として先生方に届けられている。また、この速報版は、先生方の自己点検自己評価のためのデータとしても活用が図られ、「教育の抱負及び実施に関する報告書」と次年度の「教育改善への取り組みと今年度の目標」が校長に提出され、冊子にまとめられている。

よる教育改革の充実を図るとともに、いっそうの教育改善に努めていく所存である。